

ほっと連携

第18号
2011

平成23年12月8日
発行

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫
http://kitami.jrc.or.jp E-mail : renkei @kitami.jrc.or.jp

ご挨拶

北見赤十字病院院長

吉田 茂夫



常日頃より、当院に対しまして、ご理解をいただきありがとうございます。オホーツク医療環境研究講座・研究室も2年目となり、地域の医療機関や各専門職を対象とした研修会・講演会など様々な活動が進められてきております。地域医療再生基金を活用した事業の一環ですが、何とか北見・オホーツクの地域医療、看護、リハビリテーション等がより専門・高度になるために札幌医科大学、日本赤十字社・本社をはじめ多くの関係者のご協力によりその目的を達成したいものと願っております。今後とも一層努力をしていきたいと考えております。

すことを厚く御礼申し上げます。さて、平成23年も残すところ僅かとなり、多くの国民が東北地域の復興・復興が一日も早くなされることを望んでおりますが、基本的な社会資本である医療提供体制においてすら未だ満足な状態にはなっていないことに、本当に心が重く感じられます。3月11日以降、当院におきましても

石巻・陸前高田を中心に災害救護・医療支援さらには心のケア班などの求めに応じて72名の職員を派遣いたしました。そして、これからも様々な形で支援を継続していきたいと考えておりますので、引き続き連携機関の皆様のご理解・協力をお願い申し上げます。一方、地域の医療体制としては、4月1日から、北見市の二次救急の提供体制が「新たな北見市夜間急病センター」にてスタートしたことが大きな変化でありました。北見医師会長の古屋先生をはじめ多くの関係各位のご努力に敬意を表すとともに、北見赤十字

最後に、新病院建設についてであります。小谷市長様をはじめ北見市役所北見市議会、関係の皆様方のご努力により市役所跡地を貸与していただくことになりました。これから建築に向け本格的に様々な行動がなされていきますが、将来多くの市民にこれらの決定が「本当によかった」と喜んでもらえるような病院を職員一同で作ります。今後ともご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が皆様方にとり良い年でありますように祈念申し上げます。

オホーツク医療環境研究講座・研究室セミナーのご案内

地域医療再生計画基金を活用し、札幌医科大学医学部・保健医療学部の協力を受け、札幌医科大学に特設講座「オホーツク医療環境研究講座」を開設いたしました。北見赤十字病院 オホーツク医療環境研究室の教育・研修内容といたしまして、医師に関しては、後期研修医・子育てのため休職している女性医師等幅広く研修医を募集し、総合内科医の養成、専門医・認定医の取得支援、再就職プログラム等きめ細かなコースを設け、地域医療を担う医師を養成・実践教育していきます。

看護師に関しては、専門看護師・認定看護師を養成し、地域関連病院への派遣・研修会の開催等により看護技術の向上を図ってまいります。リハビリテーションに関しては、指導士を養成し、地域関連病院への派遣・研修会の開催等により理学・作業療法士等の技術向上を図ってまいります。代表教授である札幌医科大学 内科学第一講座 教授 篠村恭久先生、臨床教授である北見赤十字病院 第一内科・総合診療科部長 佐藤健夫先生を企画者とし、内科学領域におけるテーマを中心に5回にわたるセミナー開催を計画いたしました。今回ご案内する左記のセミナーはその第5回目のセミナー案内でございます。

第5回オホーツク医療環境研究講座セミナー

講師：札幌医科大学 道民医療推進学講座

助教・特任助教 安井 寛先生（兼 内科学第一講座）

テーマ：血液がんの臨床と研究
日時：平成24年2月10日（金） 18：30～（質疑応答を含め60分程度）
場所：北見赤十字病院 東館4階 大講堂

その他、看護部をはじめリハビリテーション部門でも左記のような研修会を開催しております。詳しくは「オホーツク医療環境研究講座・研究室」のホームページにも掲載しておりますので是非ご覧ください。

中枢神経疾患のリハビリテーション研修会

講師：社会医療法人大道会

森之宮病院 理学療法士 日浦 伸祐先生

日程：平成24年2月18日・19日（2日間）

オホーツク医療環境研究講座・研究室
ホームページ URL：http://www.medical.okhotsk.or.jp/



講師：札幌医科大学 安井 寛先生



第2回「免疫不全と感染症」セミナーの様子

■相澤院長先生より

診療科：内科・外科・整形外科・小児科・
消化器科・歯科・歯科口腔外科

《医療連携について》

当院では、休日・夜間救急を含め出来る限り地域の皆様を自院にて診療できる体制をとっているつもりですが、専門性の高い患者さんや重症患者さんの治療につきましては、北見赤十字病院の先生方をお願いせざるを得ない状況であります。

今後につきましても、正確で信頼のおける情報提供のもと地域医療連携を深め、患者さんが安心して受診できる体制を築いていきたいと思っております。

《自院紹介》

北見赤十字病院の先生方ならびにスタッフのみなさまには、日頃より大変お世話になり厚くお礼申し上げます。

私は、平成10年から平成13年の3年間津別病院に勤務した後、一度離れ平成16年4月に副院長として着任して以来、7年が経過しました。

平成19年11月より院長職を拝命し、町内唯一の医療機関として地域医療に貢献できるようスタッフと共に頑張っていきたいと考えております。

当院は丸玉産業株式会社の企業立病院という大変数少ない病院となっております。

丸玉産業の従業員の福利厚生はもとより、人口5,600人の津別町民の皆様の健康管理を担い社会貢献をしていきたいという理念のもと運営しております。



津別病院



〒092-0235

津別町字幸町61番地

TEL (0157) 76-2121

院長：相澤 誠

出身大学：札幌医科大学医学部

出身地：釧路市

所属学会：日本外科学会専門医

資格 日本消化器外科学会専門医

専門分野：一般外科

《診療のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:15~12:00	○	○	8:30 ~ 11:30	○	○	8:30 ~ 11:30	×
午後1:15~4:00	○	○	×	○	○	×	×

登録医紹介

■三角院長先生質問コーナー

診療科：内科・小児科・外科・
リハビリテーション科・皮膚科

趣味は何ですか？

—— 旅行・登山・音楽鑑賞・競馬

特技は何ですか？

—— ピアノ演奏

これだけは譲れない「こだわり」ってありますか？

—— 弱者の味方でありたい



《自院紹介》

医療法人社団 雄俊会（ゆうしゅんかい）は2005年（平成17年）2月2日『おんねゆ診療所』としてスタートいたしました。その後2008年（平成20年）3月21日に医療法人となり現在に至っております。法人名は介護福祉士として活躍し、若干30歳で逝去した長男「雄一」の『雄』、地域医療のフロンティア『若月俊一』先生の『俊』を戴き医療・福祉の結合を目指して命名いたしました。生まれ育った地域で自分らしく人生の最後を迎えたいという地域の人々の希望を生かすべく、2009年（平成21年）10月1日には、介護・在宅医療連携の適合高齢者専用賃貸住宅「春にれの里むか川」を開設いたしました。北海道の屋根大雪山の麓で、大自然の恩恵を受けながら介護度にかかわらず必要な医療を受け、終の棲家となる在宅介護・医療を追求しております。また、医療分野では第一線総合診療を徹底し、僻地においても高度医療の恩恵が受けられるよう各専門分野との医療連携を重視しております。地域の人々から『おらが病院』と言われる医療機関となるよう、『ここに住みたい』という地域創りに貢献できるよう今後も『生活の質の高い医療・福祉』に取り組んでまいります。なお他の医療機関にない療法として、温泉利用による足浴を理学療法に取り入れています。また札幌緑愛病院肝臓病センターからの専門医による肝臓外来を月1回実施しています。



おんねゆ診療所



〒091-0173

北見市留辺蘂町温根湯温泉440-1

TEL (0157) 45-2340

院長：三角 彰宏

出身大学：長崎大学医学部

出身地：東京都

所属学会：日本内科学会・日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本肝臓学会・日本大腸肛門病学会・日本肺癌学会・日本農村医学会・日本家庭医学会・日本温泉物理療法学会

専門分野：消化器内科

《診療のご案内》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30~11:30	○	○	○	○	○	○ ^{第2・4}	×
午後1:30~2:30	○	×	○	○	○	×	×

神経精神科紹介

第一神経精神科部長 嶋田進一郎

神経精神科の紹介をさせていただきます。現在、常勤医師3名、嘱託医師1名で診療を行っています。外来スタッフは、看護師2名、事務員1名になります。一日平均の外来診療患者数は100名位になります。

リエゾン精神医学・精神科救急医療として精神科患者の内科等の合併症や、他科患者で精神症状（不安、抑うつ、せん妄、精神病症状など）を伴った場合、コンサルテーション、必要に応じて院内身体科病棟への往診や当科転入院の措置をとり、安心かつ安全確実にそれぞれの治療が行われるように努めています。また、当院の救命救急センターにおいては、麻酔科をはじめ各科と協力して精神科救急医療を担っています。このような症状を伴った場合は、是非、ご紹介下さい。

外来診療では、小児・思春期から老年期にいたる精神疾患全般（ただし、終夜脳波モニターを要する睡眠障害は、大学病院・睡眠障害専門クリニックへ紹介）が診療対象です。通常のカウンセリング以外の特殊療法（家族・集団療法、作業療法などは時間予約制になっていきます。平成14年7月、2病棟から1病棟の削減縮小に伴い、同年9月から精神科デイケアを開設（定員50名）、新たに専任の訪問看護師2名を配置し、外来機能の充実地域での生活安定・向上、再発防止に努めています。また、アルコール集団療法（毎週金曜日19時～）を当科患者以外の方や、その家族も参加できるようにオープン形式で開催しています。

入院医療は、男女混合67床の閉鎖病棟ですが、できるだけ自由に開放的な雰囲気の中で入院生活が過ごされ、チーム医療（医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士等）による包括的な治療やサービスマス（早期退院、早期社会復帰に向けた患者一人一人の病状・個性・ニーズに合わせた入院作業療法、また、入院中から試験的に精神科デイケアも利用し



○スタッフ紹介

第一神経精神科部長 嶋田進一郎
 第一神経精神科副部長 嶋田進一郎
 神経精神科医師 藪本元
 嘱託神経精神科医師 伊藤哲寛

てもらいます。従来から地域の保健・福祉行政や精神保健団体（社会福祉法人、家族会、回復者クラブ、断酒会、提携下宿等）と連携してコミュニケーションを実践しています。また、高齢化に伴う認知症や、ストレス時代を反映したうつ病・心身症などのストレス関連疾患が増加していますが、当院での市民健康講座や、関係機関・各種団体・企業でのメンタルヘルスやストレス・認知症マネジメントについての啓蒙普及活動も行っています。初診の場合、前医での治療経過がある場合は紹介状をお願いしていますが、前医が無ければ紹介状が無くても診療をしています。平成22年5月からは、もの忘れ外来も開始していますので、確定診断等でご紹介いただければと思います。

がん診療連携拠点病院として 当院での取り組み(講演会)について

当院は地域がん診療拠点病院に指定されており、その役割の一つに「地域の医療機関の医療従事者に対する研修を実施する」ことが挙げられ、これまでも皆様にご案内してまいりました。

『第3回がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会』につきましては第17号（平成23年7月13日発行）に報告しておりますので、今回はその他に実施した講演会について報告いたします。

●8月11日（木）第9回化学療法勉強会
 『発熱性好中球減少症の対策～実地医療におけるコツ～』
 東京慈恵医科大学 腫瘍・血液内科教授 小林直先生

院内・院外より61名の参加がありました。中でも医師の参加が11名と多く、また救急外来や医療安全室などからも参加があり今回のテーマについての関心の高さが伺えました。講演内容は、がん化学療法治療中の感染症のマネジメントについてガイドラインやリスク分類、スコアリングシステムなどを示され、また発熱性好中球減少症における抗生物質やG-CSF製剤、解熱剤等の使用についても実際の症例をまじえながら詳しく話されました。その他にも実地臨床における有害事象・副作用発現時の対処方法などについても触れられ、がん診療に携わるスタッフにとっても日常業務に活かせるものでした。アンケートでも『食事制限について学ぶことが出来た。』『今後の診療に十分役立つ内容でした。』など様々な意見が寄せられました。

●10月13日（木）第41回 緩和ケア勉強会
 『口腔ケアの基礎と実践～がん治療における口腔ケア～』
 かをるデンタルハウス 歯科衛生士 江戸美奈子先生

院内・院外より57名の参加がありました。特に院外からの参加者も多く、介護福祉士や歯科衛生士の方々の参加も見られました。講演内容は、主に化学療法・放射線治療などのがん治療における様々な口腔トラブル（口腔粘膜炎症、ヘルペス感染、

カンジダ感染、出血、舌苔、口腔乾燥など）とその対処法を中心に話していただきました。スポンジブラシの使い方や歯ブラシの特徴などについては実際に参加者もサンプルを手にして実感することができ、また、病態別の口腔ケアの実践については豊富な症例写真と具体的な注意点やテクニックなどを提示していただき、非常にわかりやすく理解が深まる内容でした。アンケートでは「口腔ケアの大切さと、治療前のケアの重要性がわかった」「具体的なトラブル別に対処を学ぶことができた」「講義内容が根拠に基づいて非常に役立つ内容だった」「普段悩んでいることについて詳しく説明を聞くことができた」など多くの感想が寄せられました。

歯科衛生士の講師は今回が初めてとなりましたが、これまでになかった視点からの講演に参加者に大変好評で口腔ケアの重要性に対する認識がより一層高まったと思われま。院内および地域のがん医療に携わる医療スタッフのスキルアップにつながったと確信しています。

今後がんに関する講演会・研修会を予定しております。詳細につきましては当院の医療連携室からご案内させていただきますので、多くの皆様に参加いただければ幸いです。また、毎回アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。皆様のご意見を今後の活動に反映していきたいと考えております。

今後とも皆様のご協力を賜りながら、日常のがん診療レベルの向上と地域連携体制の整備に向けてさらに努めてまいります。ご指導、ご支援宜しくお願いいたします。

がん対策推進室



第41回 緩和ケア勉強会の様子 講師：かをるデンタルハウス 江戸美奈子先生

平成23年度オホーツクがん看護勉強会のご案内

●オホーツクがん看護勉強会内容

日程	時間	内容	講師
第1回 平成23年6月3日(木)	17:30～19:30	がん看護Ⅰ がん患者と社会 がん医療と看護倫理	北見赤十字病院 医療社会福祉課 がん相談係長 堀 健太郎 北見赤十字病院 看護部看護師長 がん看護専門看護師 泉 玲子
第2回 平成23年8月26日(金)	17:30～19:30	がん看護Ⅱ がん看護実践の基本 三大治療基礎	手術療法 北見赤十字病院 看護部 乳がん看護認定看護師 田邑 泰子 がん化学療法 北見赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 住田 真弓 放射線療法 北見赤十字病院 看護部 南6階看護師 種本 純一
第3回 平成23年9月30日(金)	17:30～19:30	がん看護Ⅲ がん看護実践の基本(名論)がん化学療法の実践	北見赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 渡 明美
第4回 平成23年11月18日(金)	17:30～19:30	がん看護Ⅳ 症状マネジメント(がん性疼痛を除く)エンド・オブ・ライフケア	北見赤十字病院 看護部 看護師長 緩和ケア認定看護師 安藤 恵美

●開催予定表

第5回 平成23年12月9日(金)	17:30～19:30	がん看護Ⅴ がん患者とコミュニケーション	北見赤十字病院 看護部 がん化学療法認定看護師 住田 真弓
第6回 平成24年1月27日(金)	17:30～19:30	がん患者Ⅵ がん患者の喪失と危機	北見赤十字病院 看護部看護師長 がん看護専門看護師 泉 玲子
第7回 平成24年2月23日(木)	17:30～19:30	がん患者Ⅶ がんと薬理 がん性疼痛マネジメント	北見赤十字病院 薬剤部 製剤課長 堀 大 北見赤十字病院 看護部 がん性疼痛看護 認定看護師候補生 赤川 舞子



赤ちゃんに優しい病院 (BFH)認定

母子同床可能なセミダブルベッド

GCU

新生児センター
スタッフ

周産期母子センター紹介

北3階病棟 助産師長 早坂文枝

皆様こんにちは。今回は、周産期母子センターのご紹介をさせていただきます。当センターは、平成15年にWHO（世界保健機関）とユニセフ（国連児童基金）より、

「Baby Friendly Hospital (BFH)、赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受け、母乳育児を積極的に推進、支援してまいりました。認定後8年が経過し、これからは赤ちゃんを取り巻くすべての方にやさしい施設として環境に配慮し看護ケアの質の向上に努めたいと考えています。

この度、面会ロビー、シャワー室、個室のリニューアルをし、入院された患者様のご希望に少しでもお答え出来るように環境改善をおこないました。面会ロビーの椅子は、妊婦さんの負担に配慮し、他病棟の物よりサイズが大きめで背もたれのあるソフトな素材を使用しました。



カンガルーケア

パーテーションを使用し、ライバシーにも配慮いたしました。個室は2室整備いたしました。ご家族様がゆつくり気兼ねなく面会することが可能です。出産前

後の大切な時間をゆったりと過ごしたいというご希望の声に答えたいと思います。

一般産褥室は4床室となっており、セミダブルベッドとし母子同床もゆつたりと過ごせます。分娩前室は3床ですが、ご家族の付き添いが24時間可能です。外来からバスプランをお伺いしており、産婦さんの希望に可能な限り対応いたしておりますが、感染の面から立ち会われる方の健康管理にご協力いただいております。リラクゼーションを目的とした、アロマ芳香浴を取り入れております。分娩室にはLDR対応の分娩台で、ご家族の立ち会い出産も対応しております。必ず医師の立ち会いと、助産師、新生児担当看護師が待機し、みんなで見守る出産を心がけています。出生直後からのカンガルーケアを新生児の呼吸状態の観察を慎重に行いながら、家族の始まりを自然な形でサポートさせていただきます。母子の素肌のふれあいはお母さんにも、赤ちゃんにも一生忘れられない感動を与えてくれます。正常の経過から異常へ変化することは常に背中合わせですが緊急時に備えて、新生児センターが併設しておりますので安心してご利用ください。NICU、GCUは母子分離となった場合でも、専門スタッフが、かけがえない小さな命をご家族とともに見守っております。赤ちゃん、お母さん、ご家族が主役である周産期母子センターとして今後もよろしくお願いいたします。



産科スタッフ

分娩前室での
アロマ芳香浴



個室



お祝い膳



ロビー



LDR 対応分娩台



母乳の会「たんぽぽ」



シャワー室

北見生活習慣病フォーラムを開催して

11月2日に、当院及び北見医師会・北見薬剤師会・大日本住友製薬株式会社の共催により、札幌医科大学病院 学長 島本 和明先生をお招きし、ホテル黒部において開催されました。会場には医療関係者等、150名の参加があり盛況のうちに終了しました。
当院の吉田病院長が座長となり、以下の内容で進められました。

【基調講演】

「生活習慣病としてのメタボの位置付け」

札幌医科大学病院 学長 島本 和明先生

【北見・オホーツク地域における生活習慣病対策の取り組みの現状と報告】

- ①「医療介護における地域の立場から」
北見循環器クリニック 院長 今野 敦先生
- ②「保健師の立場から」
北見市端野総合支所 保健福祉課 保健師 竹中 さつき氏
- ③「農業生産食品開発の立場から」
農業生産法人株式会社イソップアグリシステム 代表取締役 門脇 武一氏
- ④「管理栄養士の立場から」
北見赤十字病院 栄養課課長 村田 智津子氏

基調講演では、30年以上にわたり継続している端野町・壮瞥町の疫学調査について話題がありました。その調査により蓄積されたデータをもとに生活習慣病の発症因子と相互関係についての研究結果が日本人のエビデンスとして高い評価を得て、各種診療ガイドラインにも取り入れられていることなど話されていました。北見・オホーツク地域における生活習慣病対策の取り組みの現状と報告では、4人の方がそれぞれの立場から、生活習慣病対策としての取り組みもわかりやすく報告されていました。



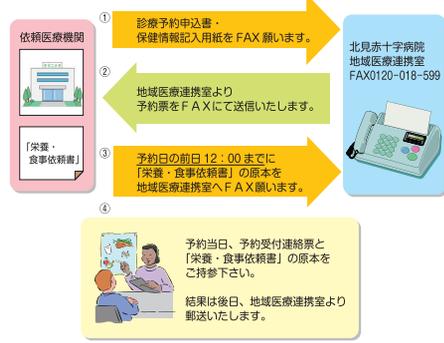
当院では、地域医療連携室経由にて栄養指導予約を承っておりますので、栄養指導が必要な患者さまがいらっしゃいましたら、是非ご利用ください。
《栄養指導予約枠》
個別栄養指導 一月～金①10:00 ②11:00 ③14:00 ④15:00
(水曜は①・②・④のみ)

当院への栄養指導予約フローチャート

- ①当院 地域医療連携室へ診療予約申込書・保健情報記入用紙（FAX用）にて申込下さい。（依頼書は不要です）
- ②地域医療連携室より予約受付連絡票を送信いたしますので患者様へお渡し下さい。
- ③予約日の前日12:00までに「栄養・食事依頼書」を地域医療連携室へFAXにて送信して下さい。
- ④当日、予約受付連絡票、「栄養・食事依頼書」の原本をお持ち下さい。

※紹介患者様は当日、一度内科外来へ集合した後、栄養士より栄養指導を受けていただくこととなります。栄養指導の結果には、後日 地域医療連携室より郵送致します。

※「栄養指導」申し込みの流れ



栄養・食事指導依頼書		年 月 日	記入
依頼者氏名	担当医師	年 月 日	北見赤十字病院 地域医療連携室
性別(フリガナ)	生年月日 (M・D・S・H)	年 月 日	時 分 集 団
身長	kg	cm	kg
血圧	mmHg	mmHg	mmHg
血糖	mg/dL	mmol/L	mmol/L
脂質	mmol/L	mmol/L	mmol/L
尿酸	mg/dL	mmol/L	mmol/L
その他			
病歴	検査項目	結果	備考
2型糖尿病	空腹血糖		
1型糖尿病	HbA1c		
糖尿病性網膜症	眼底検査		
糖尿病性腎症	血清クレアチニン		
糖尿病性神経障害	神経伝導検査		
高血圧	血圧		
脂質異常症	脂質		
尿酸値異常	尿酸		
その他			
指導上の注意	指導内容	指導回数	指導料
職業	家族構成	食生活	運動習慣
家族構成	嗜好品	アレルギー	その他
指導担当者 本人・妻・その他	連絡先	住所	郵便番号
運動習慣 有・無	栄養指導 初回	回数	費用
栄養指導 初回	回数	費用	

病院連携システムについて

当院では、平成18年より、当院と紹介・逆紹介のある患者様の情報（血液検査、画像検査、注射・処方）を、セキュリティーに配慮したインターネットを利用して閲覧していただく、病院連携システムの利用についてご案内しております。現在約40の医療機関でご利用いただいております。

さらに、今年11月からは、訪問看護ステーションでも、当院の医師が訪問看護指示書を作成して、患者様から同意書へサインをいただいた場合に限り、閲覧が出来る運用を開始いたしました。

また、当院循環器内科では、患者様の状態によっては、北海道立北見病院心臓血管外科へ、患者様搬送やコンサルティングをお願いすることがあるため、新規の患者様についても24時間閲覧出来るように対応しています。

今年度中に、病院連携システムの更新を予定しており、次期システムでは心電図の閲覧の追加を検討しております。システム更新時期には改めてご案内を差し上げる予定であります。お問い合わせなどございましたら地域医療連携室へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

市民公開講座を開催しました。

去る、8月27日（土）午後1時から日本赤十字北海道看護大学講堂を会場に、独立行政法人 国立がん研究センター中央病院消化管腫瘍科（消化管内視鏡科）より小田一郎先生を講師にお招きし、「胃がん治療の最前線」と題して市民公開講座を開催いたしました。
講演では、小田先生から「早期診断から内視鏡治療まで」、当院水島先生から「北見赤十字病院の現状と課題」と題してお話があり、早期に胃がんを取り除けば、治る病気であるとの説明がありました。
そのためには、定期的（1回/年以上）にがん検診を受け、早期に見ることが大切であり、初期の場合は自覚症状がないので注意が必要であるとのことでした。
パネルディスカッションでは、上林消化器内科部長が事例を挙げて、お二人の講師に対応を求め形式で行われ、当院の実情に合った解決策が討論されました。
又、質疑応答では患者様の苦悩、専門的な質問もあり、貴重な公開講座となりました。
これを機に、職員の皆さんも年1回の定期健康診断を受診し、早期発見に努めましょう。

事業課



消化器内科 水島先生(当院) 国立がん研究センター中央病院 小田 一郎先生 吉田院長 市民公開講座

今日のお話のまとめ

- ・早期に見えられた胃がんは治る。
- ・早期胃がんの半数は無症状である。
- ・早期発見には、検診(検査)を受けましょう。
- ・もっとも早い早期胃がんは、内視鏡で切除でき、胃温存ができるようになった。
- ・新しい内視鏡切除(ESD)により、確実な一括切除が可能になった。

人間ドック健診施設機能評価受審に向けて



健診センター 保健師長 松沼 三千代

早いもので平成18年度に人間ドック健診施設機能評価施設の認定を受け、5年が経過しようとしています。現在、当健診センターでは、来年4月からの認定更新をするための準備、整理を行っているところです。
人間ドック健診施設機能評価は当時からはバージョンが上がり、現在はVer.2.0になっています。このVer.2.0では、人間ドックを受けて要精検となった方がどのくらいいたのか、当院で受けたのかどうか、その結果どうであったのか、という内容の把握をすることがポイントになってきているとのことでした。
人間ドックを受けた後の追跡というのはとても労力を要する作業ですが、現在、各連携医療機関からのフォローアップ書類を頂き、ありがたく感謝しながら整理させて頂き役立てさせて頂いています。
人間ドック健診施設機能評価受審の更新にあたり、スタッフ、院内の各部門と協力しながら準備をしています。スタッフ一同、人間ドックを利用して頂く方が気持ちよく、質の高い健診を受けて頂き、地域の皆様に還元出来るように努力していきたいと考えています。ですので、連携医療機関様には引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

外来ご案内

診療科目

- 内科・総合診療科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 神経精神科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- ペインクリニック・心療内科

休診

- 土曜日
- 日曜日
- 祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。
(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。ご来院時に必ずお持ちください。

保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。



地域医療支援病院
北見赤十字病院

『理念』
人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます。

『基本方針』

1. 真に患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
2. 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
3. 職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
4. 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

『患者様の権利』

1. 誰もが年齢・性別・人種・職業などに関係なく公平に医療を受ける権利があります。
2. 誰もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
3. 誰もが分かり易い言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
4. 誰もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
5. 誰もが説明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めること（セカンド・オピニオン）ができる権利があります。
6. 誰もがプライバシー（個人情報保護法）を厳格に保護される権利があります。
7. 誰もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

『患者様へのお願い』

1. 患者様及び御家族の方々は、患者様の健康状態、アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
2. 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
3. 病院内では秩序を保ち、他の患者様のご迷惑にならない様をお願いいたします。
4. 医療費は速やかにお支払い下さいますようお願いいたします。
5. 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力を願います。

北見赤十字病院 診療一覧表

※都合により担当医が変更になる場合があります。

平成23年12月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科・総合診療科	午前	田中 吉田(知) 森 大野	田中 #佐藤 森 医療センター	田中 #佐藤 吉田(茂) 永嶋	吉田(知) 森 大野	#佐藤 永嶋 医療センター
	午後	検査・予約診療・急患診療のみ #リウマチ・膠原病(佐藤)地域医療連携室予約は火・水・金になります。				
消化器内科	午前	柳原 上林 水島	江平 久保田	岩永 柳原 一箭	江平 上林 水島	岩永 久保田 一箭
	午後	検査・予約診療・急患診療のみ				
循環器内科	午前	及川 松谷	斉藤 森本 小野	斉藤 松谷	斉藤 森本	及川 小野
	午後	検査				
神経精神科	午前	新患(再来) 再来	藪本 佐久川	嶋田 佐久川	佐久川 嶋田/藪本 藪本/伊藤	嶋田 藪本/佐久川 嶋田/伊藤
	午後	予約・急患診療のみ				
小児科	午前	三河 菅沼 伊藤	菅沼 三河 乳児検診	三河 菅沼 三河	三河 菅沼 予防接種 1ヶ月健診	菅沼 三河 菅沼
	午後	特殊	齊田 菅沼	三河 河野	伊藤 齊田	齊田 菅沼
外科	午前	新患 再来 専門外来	池田 菊地	山口 松永	菊地/宮坂 須永	松永 池田 新関
	午後	再来 専門外来	宮坂・菊地	佐藤・松永	須永 血管外来:佐久間	長間・池田 新関・山口
整形外科	午前	菅原 #森末 結城 (手術)	#菅原 中川 松盛 手術	#中川 松盛 結城 手術	#森末 松盛 結城 手術	#菅原 森末 中川 (手術)
	午後	予約検査・手術 3ヶ月児眼健診手術 #地域医療連携室予約担当医				
形成外科	午前	藤井 (予約のみ)	手術	江平まり子 (予約のみ)	藤井 江平まり子	手術
	午後	藤井 江平まり子	手術	藤井 江平まり子	手術 予約検査	レーザー外来 しみ外来 予約外来
脳神経外科	午前	急患診療のみ				
	午後	急患診療のみ				
皮膚科	午前	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎	高橋 岩崎
	午後	高橋 岩崎	手術/ フットケア外来	高橋 岩崎	高橋 岩崎	手術
泌尿器科	午前	藤井 佐々木	藤井 佐々木	藤井 佐々木	藤井 佐々木	藤井 佐々木
	午後	検査 倉橋	手術 水沼	手術 倉橋	手術 足立英文	検査 水沼
産婦人科	午前	婦人科 産科	足立英文 水沼	足立清香 東	足立清香 倉橋・金	東 足立英文
	午後	婦人科 産科	手術 担当医	手術 担当医	手術 担当医	手術 担当医
眼科	午前	石居 池	菅原 石居	菅原 石居	石居 池	菅原 石居
	午後	石居 池	予約検査 手術	予約検査 手術	予約検査 手術	石居 池
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前	金井 和田 森合	和田 大原 森合	金井 大原 森合	手術	金井 和田 大原
	午後	予約診療・手術 リニアック治療中の患者診療のみ				
放射線科	午前	有本				
	午後	急患診療のみ				
ペインクリニック 心療内科	午前	ペインクリニック	ペインクリニック	心療内科 緩和外来	ペインクリニック	心療内科・ペイン(予約) ペインクリニック
	午後	ペインクリニック	ペインクリニック	緩和外来	ペインクリニック	ペインクリニック
麻酔科	午前(術前診察)	荒川	高桑	佐藤	大槻	佐藤道子

平成23年度内科系3診療科オープンカンファレンス

●症例検討内容

回	題名	発表者
第1回	「下痢症状の後に四肢の筋力低下を呈した症例」	内科・総合診療科 佐藤健夫
	「腹部大動脈瘤術後、遠隔期に吐血を発生した、吻合部仮性動脈瘤-十二指腸瘻の1例」	循環器内科 森本信太郎
第2回	「倦怠感と手足のしびれで受診したLDH高値、貧血の症例」	内科・総合診療科 永嶋貴博
	「『高度先進医療』である大腸粘膜下層剥離術(大腸ESD)を施行した一例」	消化器内科 水島 健
第3回	「PTU内服中に腎機能の悪化を認めた1症例」	内科・総合診療科 大野広志
	「敗血症性ショックにたこつば心筋症を併発した1例」	循環器内科 小野太祐
第4回	「経過中に呼吸不全をきたした重症筋無力症の1例」	内科・総合診療科 大原正嗣
	「内分泌疾患に伴う糖尿病について～著明な食後高血糖を機に診断に至ったサブクリニカルクッシング病の一例～」	内科・総合診療科 岩久建志
第5回	「唾液腺腫脹と尿管の腫瘍性病変を呈した症例」	内科・総合診療科 仲地真一郎
	「XELOX療法中に爪甲剥離を認めた一例」	消化器内科 江平宣起
第6回	「強膜炎と難聴を呈した高齢男性」	内科・総合診療科 近藤佳一
	「難治性心不全をきたした緊急手術となった人工弁置換術後の1例」	循環器内科 及川達也
第7回	「抗菌薬に反応しない肺炎の一例」	内科・総合診療科 森 雄作
	「主幹管拡張の一例」	消化器内科 久保田良政

※第7回まで終了しております。

●開催予定日表

開催予定日	担当診療科
平成24年1月19日(木)	内科・総合診療科 循環器内科
平成24年2月16日(木)	内科・総合診療科 内科・総合診療科

北見赤十字病院 地域医療連携室

受付時間:月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00迄
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。 E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp